

乳幼児のお子さんのための施設



認定こども園「はぜる」

町を見渡す高台にある「はぜる」は「子どもを通わせたい認定こども園」のモデル園として、認定を受けています。施設の名前にもなっている“はぜる”は子どもたちが元気にはじける姿をイメージして名付けられています。やがては町を巣立っていく子どもたちに、ふるさとの思い出をたくさん、つくってあげたい。こども園には地元厚沢部町にゆかりがある要素をふんだんに詰め込んでいます。施設の基調となるヒバの木材、教室には「たいこ山」「メークイン」など、町の地名や特産品の名前を取り入れました。

芝が広がる園庭には畑も。土と花や草と近い生活をしているからこそ、自然の恵みを取り入れた食育にも力を入れています。近くの畑に芋を掘りに行って、自分たちで掘った芋を食べてみる。食育にも力を入れているところも特徴です。また、保育園留学で滞在する園児の受け入れを積極的に行っており、年間100組を超えるご家族が「はぜる」に通園しています。東京をはじめとした日本各地から、またアジアや欧米の国からも留学園児を受け入れているので厚沢部町にしながら、様々な文化に触れることができます。

町のみなさんのための施設

厚沢部町総合体育館

開館日 毎日（年末年始は休館日）
時 間 9:00～21:00（日曜日は17:00まで）
利用料 無料

ソフトバレー、卓球などの競技トレーニングルーム、子ども用遊戯室、ランニングデッキ等をご利用いただけます。屋外には子どもが走り回れる芝生があります。



厚沢部町図書館

開館日 火～日曜日（月曜日・祝日・年末年始は休館日）
時 間 9:00～17:00（土日のみ12:00～13:00は昼休み）
利用料 無料

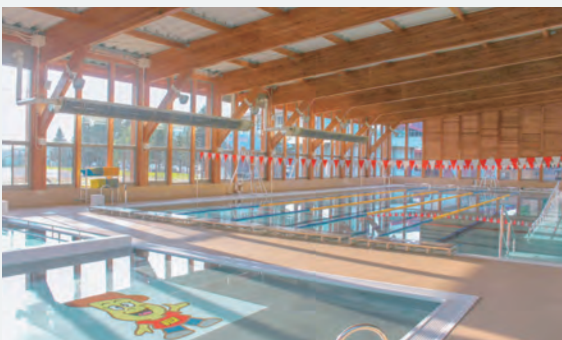
本・ビデオ・DVD・雑誌の貸し出し読書、ビデオ・DVDの鑑賞スペースをご利用いただけます。また静かな環境で集中できるお勉強スペースもご用意しています。



厚沢部町民プール

開館日 火～日曜日（月曜日が祝日の場合、翌日が休館日）
時 間 6・9月 14:00～20:00／7・8月 10:00～20:00
※事情により変更となる場合があります。
利用料 小学生・中学生：260円／一般：420円

例年6月から9月下旬まで開設される町営の屋内プールです。深さ100～120cmの25mプール、深さ80cmの歩行用プール、そして深さ40cmの幼児用プールを備えています。屋内プールなので、雨の日や日差しの強い日でも天候に左右されず、ご利用いただけます。



厚沢部町国民健康保険病院

診療日 診療情報はHPをご確認ください
時 間 8:30～11:30／13:30～15:00
※注意：症状によっては専門の医療機関を紹介します。
※入院が必要となる場合も、専門の医療機関を紹介することになります。
意識障害や反応が良くない場合は、直接専門の医療機関を受診してください。
乳幼児健診は行っていません。

小児科はありませんが、生後3ヶ月以上のお子さんにつき
①予防接種の変化 ②風邪やインフルエンザ ③発熱、下痢、嘔吐、腹痛、蕁麻疹などの症状であれば受診いただけます。



北海道立江差病院

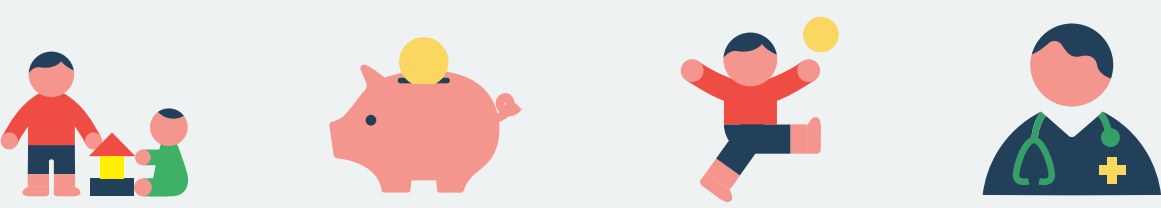
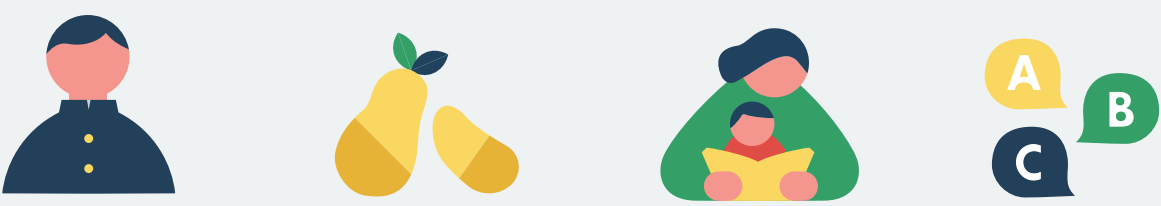
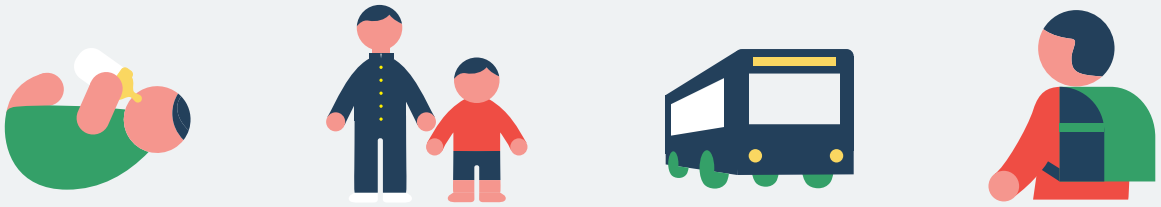
診療日 午前 月～金／午後 火・木
時 間 小児外来 8:30～11:30／15:00～16:00
予防接種 13:00～14:00
乳児健診 15:00～16:00

地域センター病院としての役割を担っています。一般の小児外来については上記の時間で受付けております。

小山歯科医院

診療日 月～金曜日
時 間 9:00～13:00（月～金曜日）／9:00～12:00（土曜日）

口は健康の入り口です。歯の芽はお母さんのお腹の中から育っています。子どもの仕上げ磨きは10才くらいまでしてあげましょう。フッ素塗布、糸ようじ、シーラントなども効果的。検診は早期治療への近道です。



Kids First Action

北海道厚沢部町 子育て支援施策ハンドブック



妊娠や出産への支援アクション

妊娠まで	妊娠したら	出産したら
01 妊娠まで町がサポート 不妊治療助成 不妊症と診断され一般不妊治療・生殖補助医療（特定不妊治療）を行った夫婦への助成を行っています。 また、不育症の治療についても助成を行っています。	02 妊娠届時に5万円を／妊娠中の子ども（胎児）1人につき5万円をそれぞれ支給 妊婦のための支援給付 03 1回あたり2,450円の交通費を助成 妊産婦健康診査交通費助成 04 受診料の負担を軽減 妊産婦健康診査助成 	05 厚沢部町に在住している妊婦の方 誕生祝金 誕生1人目から1人につき1回50万円を支給します。出生届出時に申請していただきます。 



乳幼児への支援アクション

こども園に通い始めたら		
01 経済的負担を大きく軽減 認定こども園保育料完全無償化 幼稚園・保育園利用とともにすべての年齢で無償化が実現しました。 また、給食費も無償となっており「世界一のこども園」を目指す「はぜる」に安心して毎日通うことができます。	 	02 海外の先生が常駐 DiversityDoor ただ英語を教えるこれまでの英語教師ではなく、多様性を伝えること・地域の子育て環境をアップデートすることに関心のある海外のインストラクターが厚沢部町に移住。認定こども園はぜるに常駐して勤務を行っています。 03 降園時に夕食を持ち帰る おむかえテイクアウト 子どもをおむかえに行った際、お弁当／お惣菜の受け取りができるサービス。忙しい保護者の負担軽減を実現するために毎週月、水曜日の2回、最大3セット（1セットあたり550円）をお持ち帰りいただけます。
アドバイスが必要なとき		
01 発育や生活環境について5歳までサポート 乳幼児相談・健診 02 育児や発達の不安を児童福祉司に相談できる 巡回児童相談 03 遊びながら子育ての情報交換 子育て相談（ぼてっ子） 04 最善な療育が受けられるようにサポート 療育相談	05 はみがき習慣の定着 はみがき教室 保健師・栄養士・歯科衛生士による紙芝居、染め出しチェック、ブラッシング指導などで、はみがき習慣の定着を図っていきます。  	06 はじめての絵本 ブックスタート 9～10ヶ月健診の場を活用し、絵本の読み聞かせを行い、絵本の配布やその子に適した絵本の紹介をしています。



乳幼児と児童への支援アクション

医療的なサポートが必要なとき		
01 医療費が無償に 乳幼児及び児童生徒医療費助成 高校卒業（18歳に達する日以後の最初の3月31日）までの医療費を無償化します。『乳幼児及び児童生徒医療費受給者証』の申請が必要です。被保険者たることを証する書類、印鑑を持参して申請を行っていただきます。 ※保険適応外のものは対象外となります。  	02 アプリで気軽に健康相談 オンライン診療「キッズドクター」 アプリで子どもの健康について医師や看護師に気軽に相談・診察を受けることができるサービスです。 病院が開いていない時には、看護師との『チャット健康相談』や医師との『オンライン診療』などの医療サービスが利用できます。	03 適切な時期の接種を 予防接種 定期・任意の予防接種ともに無料で受けることができます。健診・相談時に、予防接種の必要性和適切な時期に摂取する重要性について指導・周知を強化し、日程の調整を行っています。 接種スケジュールは右のQRコードからご確認ください。  04 大学卒業までサポート ひとり親家庭等の医療費助成 高校卒業（18歳に達する日以後の最初の3月31日）まで、または大学等へ進学される方については20歳に達した月の末日までの医療費負担を軽減します。
経済的なサポートが必要なとき		体を動かす機会が必要なとき
01 子育て世帯を支える 児童手当 生活の安定やお子さんの健やかな成長のために、偶数月に年6回支給します。 【支給額について（月額）】 3歳未満：15,000円 ※第3子以降は30,000円 3歳以上：10,000円 ※第3子以降は30,000円 02 児童の福祉を増進 特別児童扶養手当 精神、または身体に障がい有する児童を養育する父母に手当を支給。4月、8月、12月に支給されます。 【支給額について（月額）】 1級支給額：55,350円 2級支給額：36,860円	03 ひとり親家庭のサポート 児童扶養手当 ひとり親家庭に対して、生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るための制度です。奇数月に年6回支給されます。 ※受給者及び扶養義務者の所得により支給額が変動します。 ※父または母と生計を同じくしていない児童を養育している方も対象となります。 【第一子】 全額支給：45,500円 一部支給：10,740円～45,490円 【第二子以降】 全額支給：10,750円 一部支給：5,380円～10,740円	01 親子の思い出となるイベントを すまいるサンDAY 休日に季節ごとの探検イベントなどを開催しています。小学生も参加可能です。 【開催日】 不定期開催（日曜日） 【時 間】 9:30～13:30 02 親子で厚沢部の自然に触れる どんどんパーク 主に戸外活動を中心に親子で地域の自然に親しむ機会を提供しています。 【開催日】 不定期開催（水曜日） 【時 間】 10:00～11:30 03 さわやかな汗を流そう スポーツ施設無料開放 厚沢部町内の各種スポーツ施設について町内に住者は当面の間無料とします。

住宅購入するファミリーへの支援アクション

01 新居の購入の心強いサポート 持家建設促進奨励金	中学生までの子どもがいるご家族が町内で住宅購入（新築もしくは中古住宅）で支出が発生する際の支援です。最大100万円（諸条件あり）の交付に加算し、子どもの人数を加味してサポートします。 【加算額】 子ども1人：30万円、子ども2人以上：50万円
---	---



児童への支援アクション

みなさんが受けられるサポート		
01 みんなで、もぐもぐ 小中学校の給食費無償化 小中学校の給食費が無償化となります。申請などの手順は必要ありません。	02 ずっと忘れられない記憶を 小・中学生の修学旅行費の無償化 小・中学生の修学旅行経費を助成します。 小学生：東北地方、中学生：九州地方	
進学におけるサポートが必要なとき		
01 進学の金銭的負担を緩和 給付型・貸付型奨学資金 給付型：月額3万円を給付します。（申請要件あり） 貸付型：高校・高専（月額）3万円、短大・専門（月額）4万円、大学（月額）5万円（学部により金額上限あり）の貸付けを行います。	02 進路に合わせた指導を 公営塾 中学生・高校生の英語・数学を中心とした教科指導、自習サポートなどを行っています。 【開講時間】 月曜日から金曜日の放課後～20:40	03 通学の負担を軽減 江差高校等通学バス定期券購入費補助 厚沢部町に在住している江差高校等へ通学のためのバス定期券を購入している生徒に対して、定期券購入費の8割を助成します。
学校生活を充実させるサポート		
01 プロ経験者との練習会を トップアスリートとの交流事業 町内小中学生を対象として、プロ経験者等のトップアスリートとの練習会、交流事業を行います。	03 スポーツに励む小・中学生を応援 部活動・スポーツ少年団全道全国大会出場経費補助事業 厚沢部町スポーツ少年団本部を経由して、全道・全国大会に出場するスポーツ選手等の旅費及び登録料を助成します。	05 夢中を応援 スポーツ少年団活動費補助事業 厚沢部町内のスポーツ少年団に、活動費、各種大会参加料等の助成を行います。
02 コーディネーターが遊びをサポート 放課後あそび基地 小・中学生は誰でも参加することができ、コーディネーターが子どもたちの「やりたい!」を実現するサポートを行います。 【開催日】 第1第3金曜日（下地区） 第1第3火曜日（鶏地区） 【開放時間】 14:00～17:00	04 共働き世帯をサポート 放課後児童対策事業（学童保育） 留守家庭などのお子さんを対象に、放課後児童支援員が文化、レクリエーション、学習活動を行っています。 【対象時間】 下校から17:15（お迎えは17:30まで） 【対 象 校】 厚沢部町立厚沢部小学校 厚沢部町立館小学校	06 スキーや茶道の教室が開講 各種社会教育事業 町内小中学生を対象とした文化スポーツ事業の開催を行っています。 

お問い合わせ

詳細はWebサイトでご確認ください。



健康増進係	TEL：0139-64-3319	kenkou@town.assabu.lg.jp
住民係	TEL：0139-64-3313	jumin@town.assabu.lg.jp
こども園係	TEL：0139-56-7310	kodomo@town.assabu.lg.jp
社会教育係	TEL：0139-64-3318	kyoui-syakai@town.assabu.lg.jp
国保係	TEL：0139-64-3313	kokuho@town.assabu.lg.jp
政策推進係	TEL：0139-64-3312	s-seisaku@town.assabu.lg.jp
福祉係	TEL：0139-64-3318	kyoui-gakkou@town.assabu.lg.jp
子育て支援係	TEL：0139-64-3319	kosodate@town.assabu.lg.jp
給食センター係	TEL：0139-64-3318	kyusyoku@town.assabu.lg.jp
学校教育係	TEL：0139-64-3318	kyoui-gakkou@town.assabu.lg.jp
建築施設係	TEL：0139-64-3316	kentiku@town.assabu.lg.jp